



代表質問にたちました

物価高対策

さらなる充実を求める

松村の質問は
こちらから！

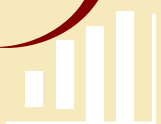


さいたま市議団
YouTube

物価が上がり続けるなか、みなさんの暮らしはどうでしょうか。
4月からの新年度予算案に対し、日本共産党市議団は「予算の組み替え」を提案。税金の無駄づかいをやめ、物価高対策など暮らし応援の予算を増やすよう求めました。ひとつは、**水道基本料金の無料期間を9月まで伸ばすこと**です。私は昨年の議会できりかえし水道料金負担の引き下げを求め、今年4月から7月までの水道基本料金無料を実現しました。私は暑い盛りの8月と9月も無料にするべき、と求めました。
2つ目は**学校給食費を中学校でも無償化すること**です。4月から全国制度で小学校と特別支援学校小学部の給食費が無償化されました。議会できりかえし実施を求め、保護者からの給食費無償化を求める請願の紹介議員になるなど推進してきたことが実現しました。私は中学校給食の無償化も求めました。
清水市長は私の質問に「物価高が市民生活に大きく影響している。物価高対策などを迅速かつ切れ目なく実施する」と述べたものの、上記2つの提案は拒否しました。引き続き、実現に向けてとりくみます。

社会保険料と ごみ手数料 値上げ

手取りが
減っちゃう?!



負担軽減が一部実現する一方で、**残念ながら4月から国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料が値上げ**されました。これでは「手取りを増やす」どころか減ってしまいます。
また家庭ごみを焼却場に持ち込んだ際の手数料が昨年から段階的に値上げされています。市は粗大ごみの回収手数料等の値上げも検討しています。私は、**物価が上がり続けるなかで市民負担を増やすのはやめるよう求め、これらの値上げに反対**しました。

新見沼大橋 無料化へ前進



私は市民のみなさんと新見沼大橋有料道路を早期に無料化するよう求めてきました。今年の11月に建設費償還期限を迎えるため、管理が県からさいたま市に移ることになります。

県と市は無料化に向けて協議中ですが、県の新年度予算には無償化に向けた検討を進める予算が含まれています。引き続き、無料化の確実な実施と無料化後の騒音対策などにもとりくみます。

市民とともに 防災公園を実現



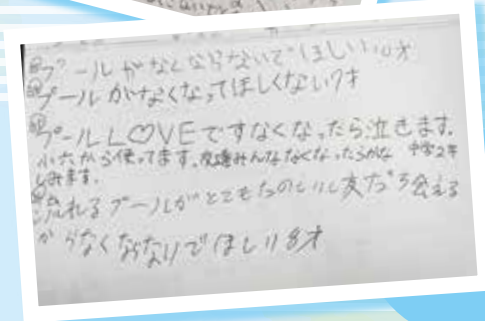
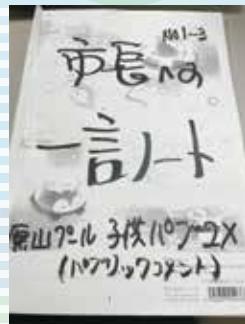
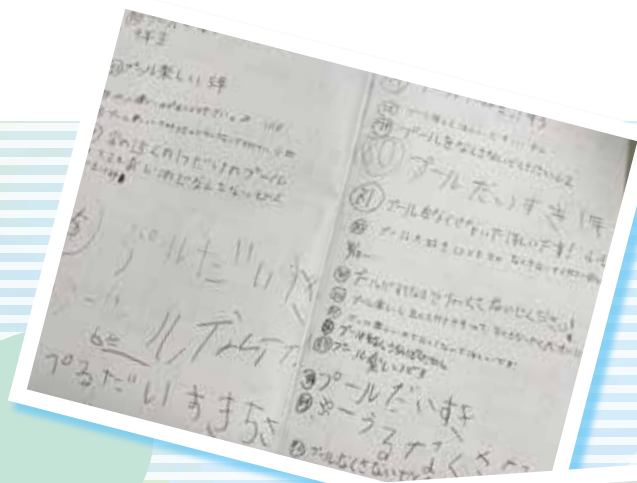
三室の県教育センター跡地に防災公園を、と住民の声があがって10年以上。三室中央公園（ヌウパーク）が昨年10月にオープンしました。2015年6月議会で私が求めたときには市は後ろ向きでしたが、市民が署名にとりくみ、県・市とくりかえし交渉して動かしてきました。

公園の防災設備として、ソーラー照明（コンセント付き）や井戸（飲料不可）、移動式カマド、地下ビット式トイレなどが設置されていますが、公園に防災機能があることが伝わる看板等がないので、設置を求めています。

原山市民プールを 存続させよう

さいたま市が、原山を含む市民プール削減方針をつくって2年が過ぎました。すでに沼影が廃止されるなか、「原山市民プールの存続を求める会」から署名が2万人以上、子どもの直筆要望（子どもパブコメ）が500以上、市に届けられています。市は桜区に新しいプールをつくることを検討していますが、私は質問で「子どもが望まない廃止方針を市が決めてしまった。建設費も高騰している。今あるプールを生かす方向に見直そう」と提案。答弁した副市長は「廃止方針の見直しは予定していない」としつつ「財政負担を最小限に」「原山市民プールは可能な限り活用したい」と述べました。

市の方針は行き詰まっています。原山市民プール存続のため、市民のみなさんと力をあわせてとりこんでいきます。



子どもパブコメに寄せられた声

高齢者の移動を 支援するために



運転免許証を返納した高齢者から「外出手段はバスしかない」「費用がかかるので外出がしんどい」と切実な声が多く寄せられています。そのため、返納をためらう人も少なくありません。バス運賃の値上げもあり、通院や買い物なども一苦勞です。

外出機会の減少はフレイルや孤立を招くため、高齢者の外出支援としてバス運賃助成を実施する自治体も多くあります。しかし、さいたま市では「実証実験を検討」としながらも制度化の動きが見られません。運賃助成は外出促進や健康維持、地域経済の活性化、路線維持にもつながる重要な施策であるため、早急な実施を求めています。

イラン攻撃

国連憲章に基づく 平和的解決求める

アメリカ・イスラエルの先制攻撃からはじまり、イランによる報復攻撃の連鎖が続き、子どもも含めた痛ましい犠牲が広がっています。さいたま市議会は「国連憲章及び国際法の原則に基づき、武力行使を最大限抑制し、対話と外交的枠組みによる平和的解決を最優先として、問題の解決を追求すべき」と国に求める意見書を日本共産党市議団も含む全会派の賛成で採択しました。

私は賛成討論にたち「アメリカ・イスラエルの先制攻撃は国連憲章に反し、攻撃の中止と外交交渉による解決を求める。政党間で意見は違うが国連憲章の原則に基づき、対話と外交による平和的解決を求めることで一致できたことは重要だ」と述べました。



意見書の賛成討論をおこなう松村としお

あなたの声を聞かせてください！

市民アンケートを実施中

回答はこちらから▶

